

作成年月日	令和 6 年 8 月 21 日
作成部局名	財務部 財政課

※本資料は監査委員による審査前の決算を元に作成しているため、精査の結果、今後、異動する可能性あり

令和 5 年度 決算の概要

令和 6 年 8 月 21 日

目次

一般会計 決算の概要	3
決算収支	4
（参考）財政基金残高の状況	5
主な財政指標（県政改革方針における財政運営目標の状況）	6
R 5 決算 歳入の概要	7
R 5 決算 歳出の概要	8
特別会計 決算の概要	9
公営企業会計 決算の概要	10

一般会計 決算の概要

決算規模

新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う対策関連経費等の減により、歳入歳出ともに前年度より、減少

◇歳入総額 2兆4,077億円

(前年度比 ▲2,010億円、92.3%)

◇歳出総額 2兆3,836億円

(前年度比 ▲1,940億円、92.5%)

決算の全体像

(単位：百万円)

歳入	県税等	地方交付税等	国庫支出金	県債	その他	
	921,279 (38.3%)	389,249 (16.2%)	236,656 (9.8%)	127,390 (5.3%)	733,076 (30.4%)	
歳出	人件費	社会保障関係費	公債費	投資的経費	行政経費	その他経費
	446,738 (18.7%)	360,843 (15.2%)	262,480 (11.0%)	228,657 (9.6%)	204,313 (8.6%)	880,565 (36.9%)

決算収支

- 社会活動の正常化に加え、円安やインバウンド需要の増加に伴う企業業績の回復により、**県税等が過去最高**となったことや歳出不用等により、**実質収支は141億10百万円**
- ただし、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金活用事業等の実績減に対する国庫返納金など、後年度に106億8百万円の精算が生じる見込
- この結果、**精算分を除いた実質収支は35億2百万円**

(単位：百万円、%)

区 分	R5年度	R4年度	R5 - R4	R5 / R4
歳入総額 A	2,407,650	2,608,647	▲200,997	92.3
歳出総額 B	2,383,596	2,577,599	▲194,003	92.5
形式収支 C = (A - B)	24,054	31,048	▲6,994	77.5
翌年度繰越財源 D	9,944	8,254	1,690	120.5
実質収支 E = (C - D)	14,110 (3,502)	22,794 (6,012)	▲8,684 (2,510)	—

(参考：実質収支の推移)

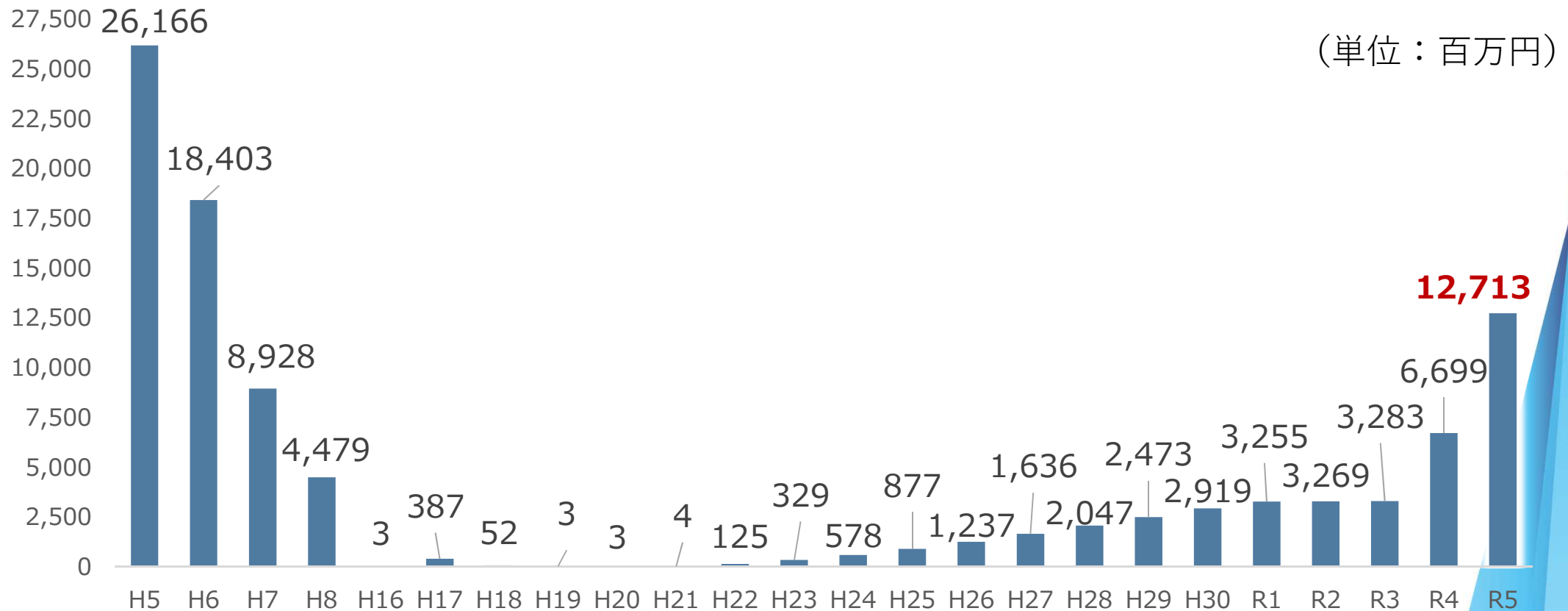
(単位：百万円)

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
791	821	850	890	670	25	23	21,781 (3,415)	22,794 (6,012)	14,110 (3,502)

※下段 () 書きは精算分除きの金額

(参考) 財政基金残高の状況

- 令和5年度末残高は、震災以降 **約30年ぶりに100億円を超え**、127億円となった



※H5～R5：決算

主な財政指標（県政改革方針における財政運営目標の状況）

06

(単位：百万円)

区 分	令和5年度 a	令和4年度 b	増減 a-b	令和10年度 までの目標
収 支	14,110 (3,502)	22,794 (6,012)	▲8,684 (▲2,510)	収支均衡を目指す
実質公債費比率 (減債基金積立不足率)	17.5% (45.8%)	15.9% (33.1%)	1.6% (12.7%)	21%程度
3 か年平均	16.3%	15.5%	0.8%	(地方債協議制度同意基準(18%)と早期健全化基準(25%)の中間値(21.5%)未満)
将来負担比率	321.5%	330.8%	▲9.3%	305%程度 (R3見込(319.7%)をH20~H30行革期間の縮減率(▲2.1%/年)並で縮減(305.5%))
経常収支比率	97.3%	98.7%	▲1.4%	100%未満を維持

※ 収支欄の下段（ ）書きは精算分除きの金額

※ 令和4年度の実質公債費比率及び将来負担比率は、令和6年2月に行った修正後の数値

R5決算 歳入の概要

過去
最高

- ① **県税等** **9,213億円** (前年度比 +136億円、101.5%)
社会経済活動の正常化に加え、円安やインバウンド需要の増加に伴う企業業績の回復等により、法人事業税が増加したこと等による増
- ② **地方交付税等** **3,892億円** (前年度比 ▲85億円、97.9%)
臨時財政対策債償還基金費の皆増により基準財政需要額が増加する一方、企業業績の回復による法人関係税の増等に伴い、基準財政収入額の増加したことによる減
- ③ **国庫支出金** **2,367億円** (前年度比 ▲1,953億円、54.8%)
5類移行に伴う入院病床確保料等の経費減により、新型コロナウイルス感染症対応緊急包括支援交付金等が減少したこと等による減
- ④ **県債** **1,274億円** (前年度比 ▲39億円、97.0%)
事業進捗に伴う、緊急防災・減災事業債の減等による減
- ⑤ **その他** **7,331億円** (前年度比 ▲67億円、99.1%)
分収造林事業等における基金運用の是正にかかる県債管理基金繰入金が増となる一方、令和4年度に実施した基金集約解消における繰入金の皆減等による減

R5決算 歳出の概要

- ① **人件費** **4,467億円**（前年度比 ▲128億円、97.2%）
人事委員会勧告に基づく引上げにより、基本給や期末・勤勉手当が増となる一方、定年引き上げによる退職者の減少に伴い、退職手当の減等による減
- ② **社会保障関係費** **3,608億円**（前年度比 ▲15億円、99.6%）
介護職員等処遇改善補助事業の終了に伴う減等による減
- ③ **公債費** **2,625億円**（前年度比 ▲28億円、99.0%）
北神急行電鉄経営対策資金貸付のために発行した地方債の償還が令和4年度終了したこと等による減
- ④ **投資的経費** **2,287億円**（前年度比 ▲262億円、89.7%）
防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の進捗に伴う、防災・減災・国土強靱化緊急対策事業の減等による減
- ⑤ **行政経費** **2,043億円**（前年度比 ▲1,659億円、55.2%）
5類移行に伴う新型コロナウイルス感染症にかかる病床確保支援事業などの減等による減
- ⑥ **その他経費** **8,806億円**（前年度比 +152億円、101.8%）
令和4年度に実施した県債管理基金への基金集約解消に伴う繰出が皆減となる一方、分収造林事業等における基金運用の是正にかかる経費や伴走型経営支援特別貸付要件の緩和に伴う中小企業制度資金貸付金の増等による増

特別会計 決算の概要

歳入歳出決算（13会計）

◆歳入総額 1兆5,837億円

（前年度比 ▲2,004億円、88.8%）

◆歳出総額 1兆5,733億円

（前年度比 ▲1,960億円、88.9%）

実質収支 **104億49百万円の黒字**

主な特別会計の歳出規模

① 地方消費税清算特別会計 **5,166億円**（前年度比 ▲161億円、97.0%）

輸入額の減に伴う貨物割の減等により、清算金支出が減少したことから、前年度から161億円の減

② 公債費特別会計 **5,044億円**（前年度比 ▲483億円、91.3%）

満期到来額の減に伴う元金償還の減や北神急行電鉄経営対策資金貸付のために発行した地方債の償還の皆減等により元金が475億円減少したことから、前年度から483億円の減

③ 農林水産資金特別会計 **14億円**（前年度比 +2億円、117.8%）

分収造林事業にかかる基金運用の是正により、農林機構事業借入金の損失補償費を支払ったことから、前年度から2億円の増

公営企業会計 決算の概要

歳入歳出決算（8会計）

◇収益的収支

- ◆ 収入 **2,220億円**
（前年度比 ▲24億円、98.9%）
- ◆ 支出 **2,262億円**
（前年度比 +7億円、100.3%）

◇資本的収支

- ◆ 収入 **618億円**
（前年度比 +201億円、148.2%）
- ◆ 支出 **630億円**
（前年度比 +264億円、141.9%）

会計別の状況

① 病院事業

はりま姫路総合医療センターのフルオープンにより入院・外来収益等の医業収益は増加したものの、コロナ患者受け入れに係る病床確保料の減少、コロナ禍後の受療行動の変化に伴う患者戻りの減退や近年の急激な物価高騰等により、**純損益は94億円の赤字**

② 企業庁事業

収益的収支を有する会計について、地域創生整備事業は、小野産業団地における土地分譲収入が皆減となる一方、防災工事の実施により赤字となったが、他会計は黒字を確保し、**5会計合わせて純損益は44億円の黒字**

③ 流域下水道事業

企業会計適用を開始した**平成30年度以来6年連続で黒字**